

## 埼玉医科大学医学基礎部門紀要投稿規程

雑誌名	埼玉医科大学医学基礎部門紀要
巻	11
ページ	63-64
発行年	2006-03-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1386/00000031/">http://id.nii.ac.jp/1386/00000031/</a>

# 埼玉医科大学医学基礎部門紀要投稿規程

## 埼玉医科大学医学基礎部門紀要投稿規程

1. 本誌は埼玉医科大学において前医学教育に携わる教職員で構成される「埼玉医科大学医学基礎部門紀要委員会」（以下「紀要委員会」という）により編集される。
2. 本誌は前医学教育に係わる学問領域および医学教育に関する未発表の論文などを掲載する。
3. 投稿者は、上述の内容の論文の発表を希望する本学及び本学の関連校の教職員（非常勤を含む）と、紀要委員会が特に認めた者とする。
4. 投稿論文の体制は原則として下記の「原稿の様式」に従うものとする。
5. 原稿は、コピーを2部つけて紀要委員会委員長あてとし、埼玉医科大学医学基礎部門事務室に提出するものとする。
6. 投稿論文の採否は紀要委員会が決定する。なお、受理した原稿は原則として返却しない。また、投稿論文は、各学問分野の慣習に従った投稿者の申告を参考にして、紀要委員会が定める本誌の部立てに従った分類で掲載される。
7. カラー写真などの特別の版代は著者の負担とする。
8. 別冊は30部まで無料とする。それを超える別刷を希望する場合は、超えた部数のみを自己負担する。
9. 校正は原則として3校までとして、投稿者が行うものとする。  
校正時、原文と著しく異なる訂正をした場合、実費を徴収するものとする。  
校正した原稿は指定期間内に紀要委員会に返却すること。
10. 著者は、本紀要に掲載された論文、抄録の著作権のうち、電子化公開を許諾する権利を埼玉医科大学に委託するものとする。

## 埼玉医科大学医学基礎部門紀要原稿の様式

1. 和文原稿は（A4）版400字詰めの原稿用紙を用い、現代仮名使い、口語体平仮名混り横書き楷書で書くこと。  
縦書き原稿を希望する者は、紀要委員会の承認を受けること。ワープロ原稿の場合は、A4版用紙を、使用し1行40字（または20字）、行間は5ミリ以上とすること。
2. 欧文原稿は、A4版タイプ用紙を用い、double spaceでタイプすること。
3. 原稿は表紙、本文、図表と写真およびその説明、その他の順にまとめて提出すること。
4. 原稿の表紙には、表題（和文の表題には英文表題名を付すことが望ましい）、著者名、所属、住所を記載し、挿図と表の数、原稿の種別、段組みの希望、別刷り希望数および連絡先を付記すること。  
なお、和文原稿は400語以内の英文要約、key word及び英文要約の和訳をつけることが望ましい。
5. 論文は原則として刷り上がりで10頁以内とすること。
6. 原稿の記述方法などは、原則として各学問分野の慣習に従うものとするが、不明の点については、「7. 本文の書き方」を参考にすること。
7. 本文の書き方
  - A. 外国人名はなるべく原綴をそのままを用いる。慣用の和訳名のある外来語および動植物名の和名は片仮名で書くこと。
  - B. 単位記号及び用語を省略する場合にはなるべく国際単位系（例えば、日本生理誌28, 141, 1967参照）によること。
  - C. 図表と写真はFig.1, Table 1, などのように番号を付し、説明は英文で書くことができる。図表の挿入位置は本文の欄外に赤字で指定すること。

D. 文献表の作り方は次のⅠもしくはⅡを参考にする。

Ⅰ. (1) 引用した文献は、本文中において順次に番号を該当箇所に右方につけ、本文の終わりに番号の順序に従って列挙する。

(2) 引用文献の著者名は「他」、「et al」と略さず全員を掲げる。

(3) 雑誌は著者名、表題、雑誌名、巻、頁（始—終）、西暦年号の順に記すること。

例] Hodgkin, A L., Huxley, A. F. & Katz, B. : Measurement of current voltage relations in the membrane of giant axon of Loligo. J. Physiol. 116, 424-448, 1952.

例] 大島良雄：中華人民共和国の温泉。日音気物理医学誌 37, 1-3, 1973.

(4) 単行本は引用論文著者名、表題、単行本の著者又は編者、書名、巻数（もしあれば）版数、章名、引用頁、発行所、その所在地、西暦年号、の順に記すること。

例] Scher, A. M. : Electrical correlates of the cardiac cycle. In: Ruch, T. C. & Patton, H. D. Physiology and Biophysics, 19th Ed., Chap. 30, 365-599, Saunders, Philadelphia, 1965.

例] 大島良雄：結合組織病の治療，結合組織病．第1版，第15章，513-522，医学書院，東京，1969.

(5) 他の文献からの再引用（孫引き）の場合は原典とそれを引用した文献及びその引用頁を明らかにし「・・・より引用」と明記すること。

(6) 雑誌の省略名は雑誌により決められているものはそれに従い、決められていないものについては日本自然科学雑誌総覧（日本医学図書館協会編）または Index Medicus によること。

Ⅱ. (1) 引用した文献は、本文中において「Scher(1965)は…」または「…が報告されている(Scher1981).」のように記し、論文最後の文献表（REFERENCES）でアルファベット順に列挙する。

(2) 文献表（REFERENCES）の著者名は、「他」「et al」と略さずに全員を掲げる。

(3) 雑誌は著者名、西暦年号、表題、雑誌名、巻、頁（始—終）の順に記すること。

例] Hodgkin, A L., Huxley, A. F. & Katz, B. : 1952. Measurement of current voltage relations in the membrane of giant axon of Loligo. j. Physiol. 116, 424-448.

例] 大島良雄：1973. 中華人民共和国の温泉。日音気物理医学誌 37, 1-3.

(4) 単行本は、引用論文著者名、西暦年号、表題、（単行本の著者と引用論文の著者が異なる場合は）単行本の著者又は編者、書名、巻数、（もしあれば）版数、引用章名、引用頁、発行所、その所在地、の順に記すること。

例] Scher, A. M. : 1965. Electrical correlates of the cardiac cycle. In: Ruch, T. C. & Patton, H. D. Physiology and Biophysics, 19th Ed., Chap. 30, 365-599, Saunders, Philadelphia.

例] 大島良雄：1969. 結合組織病の治療，結合組織病．第1版，第15章，513-522，医学書院，東京．

(5) 注を付す場合は、本文中の当該箇所の右肩に「…である<sup>(1)</sup>.」のように上付の数字を付し、注は本文の最後に注（NOTES）の欄を設け番号順に列挙すること。

E. 図および写真は修正の必要がないように仕上げる。図および写真上で大きさを示す必要がある場合にはスケールを入れること。

製版の大きさに希望があればその旨指定すること。写真には裏面に著者名、番号および天地を入れること。

原稿送付先

〒 350-0496 埼玉県入間郡毛呂山町川角 981

埼玉医科大学医学基礎部門事務室

電話 049 (295) 1000 (代)